

事業番号	10 02 23	事業改善シート (28年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	県単林道改良事業費			担当課
総合5か年計画	プロジェクト			部局
	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 2 暮らしを支える道路網の整備		課・局・室
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (エ) 林業の競争力強化		E-mail
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間
				S34 ~

1 事業の概要

目指す姿	地域住民あるいは観光客が、特定林道(いわゆるスーパー林道)を安全かつ効率的に通行できる環境が整備され、安心して生活ができる活力のある地域づくりを目指す。				
現状(予算編成時)	○特定林道(いわゆるスーパー林道)は、地域住民の生活や主要山岳観光等のための重要なインフラとして活用されている。 ○一方で、地形が急峻等、自然条件の厳しい奥山を通過していることから、大小の法面の崩落等が多発しており、林道の改良が必要な箇所が多く存在する。 <(H27見込み) 林道改良整備率 66%>				
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 一般の林道と異なり、地域の生活道路や重要な観光道路となっていること、かつ改良が必要な箇所が多く市の負担が多いため			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○林道改良整備率 66% (要改良箇所(小規模なもの)の全体延長を3,365mとした場合) (南アルプス線、奈川安曇線) (H28計画 74% 現在の予算規模では、おおよそ4年後には目標達成の見込み)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績		
	市町村営林道事業補助	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 市が行う、林道の機能を回復するための林道改良事業(国補公共事業の採択としない小規模なもの) 対象路線(補助先) 奈川安曇線(松本市)、南アルプス線(伊那市) 補助率(県費) 6/10以内 		
			10,260	10,260	10,260
			合計	10,260	10,260
事業コスト	成果目標の達成状況				
	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	
	前年度繰越				
	当初予算	10,260	10,260	10,260	
	補正予算				
	合計(A)	10,260	10,260	10,260	
	一般財源	10,260	10,260	10,260	
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	
決算額(B)	10,260	10,260			
概算職員数(人)	0.05	0.05	0.05		
概算人件費(人)	414	396	396		
概算事業費(B(A)+C)	10,674	10,656	10,656		
項目	H26末	H27末	H28		H29
			目標	成果	達成状況
改良整備率(%)	62.6	66.0	74.0	73.4	未達成
目標に対する成果の状況	緊急性の高い場所を重点的に実施することができたが、工法変更に伴う実施単価のアップにより、実施延長が短くなったため目標は未達成となった。				

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	今後は、他事業での実施可否及び市道への転用等を含め多方面から検討を行っていく。